

原子力・エネルギー教育支援事業交付金

1. 交付金事業の名称 原子力・エネルギー教育支援事業交付金事業

2. 交付金事業の事業主体 福井県

3. 交付金事業の実施場所 福井県

4. 交付金事業の概要

原子力・エネルギーの学習に必要な以下の内容を実施した。

【県事業】

(1) 実験器具・実験材料の整備

放射線の性質実験器や火力発電モデル実験器等を整備し、原子力発電・原子力安全工学の学習に活用した。

(2) 施設見学の実施

若狭湾エネルギー研究センター、美浜町エネルギー環境教育体験館「きいぱす」等を見学した。

(3) 講演会の実施

有識者による原子力・放射線、発電・エネルギーに関する講演会を実施した。

【市町村事業】(福井市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、坂井市、永平寺町、越前町、美浜町、若狭町)

(1) 実験器具・実験材料の整備

ボルタ・ダニエル電池実験セットや風力発電実験模型等を整備し活用した。

(2) 施設見学の実施

美浜町エネルギー環境教育体験施設「きいぱす」等を見学した。

5. 交付金事業に要した経費及び交付金充当額

事業に要した経費 32,293,879 円

交付金充当額 32,293,879 円

6. 交付金事業の成果及び評価

当事業により原子力・エネルギーについて児童・生徒等の理解が促進されたと回答した割合【理解度】は、実験器具・実験材料の整備事業が目標 75%に対して実績 89%、施設見学事業が目標 90%に対して実績 81%、講演会事業が目標 90%に対して実績 92%だった。原子力・エネルギーに関する教育のための環境整備として当事業が促進されたと回答した割合【満足度】は、実験器具・実験材料の整備事業が目標 85%に対して実績 94%、施設見学事業が目標 95%に対して実績 93%、講演会事業が目標 90%に対して実績 100%だった。

今年度、実験器具・実験材料の整備事業、講演会事業の【理解度】【満足度】ともに十分な成果を上げた。施設見学事業については、【理解度】【満足度】とも目標値を達成できなかった。感染状況の影響から当初予定していた時期の延期や見学場所を変更した学校もあったことから、年間学習計画通りにいかなかったことが影響したのではないかと考えられる。今後は感染状況の影響があることも考慮した施設見学の計画を立てていくようにしたい。全体的に本事業を実施したことにより、原子力・エネルギーに関する教育のための環境整備が促進されたと評価できる。